

施工上の注意（共通事項）

1 下地の調整

【下地の平滑仕上げ】

施工後の不陸を防ぐため、下地は平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈め、サビ止めをしてください。

【下地や状況に応じたシーラー処理】

木質系・合板下地・コンクリート下地・モルタル下地に直接施工すると、壁紙にシミや変色が発生することがあります。それぞれ専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。シーラー処理を施すことで、接着不良や変色を防ぎ、また、リフォーム時に剥がしやすくなります。

【下地と同色のパテを使用】

パテは下地と同色のものをご使用ください。下地と異なる色のパテを使用すると、施工後にパテの色が透けて見える場合があります。

【下地は乾燥させてから】

コンクリートやモルタルなどの湿式下地、およびシーラー・パテを施した箇所は十分に乾燥（水分率11%以下）してから施工を開始してください。乾燥が不十分な場合、壁紙の変色・剥がれ・かびが発生することがあります。

【浮いた裏打紙の処理】

貼り替え時、以前貼られていた壁紙の裏打紙が残っている場合、残った裏打紙は完全に剥がしてから施工してください。そのまま施工すると目隙や浮きの原因になります。

2 接着剤

【施工環境に合わせた準備】

環境や温度に合わせて接着剤の配合やオープンタイムを調整したり、部屋を暖めるなど配慮してください。特に5℃以下の環境では接着力が弱く、施工不良の原因になりますので、接着剤の注意事項を必ず守ってください。

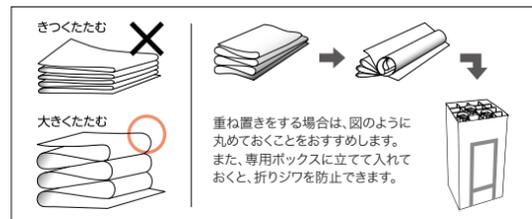
【希釈・塗布量】

接着剤の希釈は、接着剤メーカーの指定割合を守ってください。塗布量は140～160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。

【糊付け後の注意点】

壁紙に糊付け後、適切なオープンタイムを取ってください。施工を容易にするとともに、フクレや目隙の発生を防ぎます。また、壁紙をきつく折りたたむことは避けて、湾曲部に荷重がかからないようにしてください。折りジワが発生し、元に戻らない場合があります。

【糊付け後のたたみ方】



3 貼り付け

【ロット番号・施工上の注意の確認】

同じ空間に施工する場合は、同一ロットの商品をご使用ください。別ロット品で施工した場合、色違い等の不具合が生じることがあります。また、施工上の注意も十分にご確認の上、施工するようにしてください。

【有効巾について】

壁紙は必ず有効巾でご使用ください。重ねしるは有効巾に含まれません。有効巾を超えた使用は、左右色違いの原因となります。

【石膏ボード下地の注意点】

カッターで石膏ボードの原紙まで切り込むと目隙の原因となりますので、カットの際は下敷きテープをご使用ください。また、ボードの継ぎ目付近ではジョイントしないでください。仕上がりに支障をきたすことがあります。

【ベニヤ下地の注意点】

ベニヤなどの木質下地に重ね切り施工する場合、カッターでシーラー塗布面を傷つけますとアクのしみ出しによる変色の原因になります。カットの際は下敷きテープを使用するか、突き付け施工をおすすめします。

【柄合わせについて】

柄合わせの必要な商品は見本帳に「リピート」を表示しています。リピートの値は理論値であり誤差が生じます。施工の際は、ジョイントマークを参考に、目視で柄を合わせて重ね切りにて施工してください。

【ジョイント位置について】

ジョイントは商品の端部同士としてください。端部と中央部でジョイントした場合、色差が生じるおそれがあります。また、天地・左右を確認の上、同一方向で施工してください。特に開口部の上下への施工や、貼り足しや部分補修で残材を使用する場合、一部分のみを横貼りにすると色違いが起こりやすいため、ご注意ください。

【壁紙端部の表示について】



【付着した接着剤や汚れの処理】

壁紙の表面や廻り縁などに糊・汚れなどが付かないよう十分ご注意ください。付着した場合は、きれいな水を含ませた布で直ちに拭き取り、最後に乾拭きしてください。糊や汚れが付着したまま放置すると、かびや変色の原因になります。

【貼り出し確認】

品質には万全を期しておりますが、念のため壁紙を3巾ほど施工した時点で商品に問題のないことをご確認ください。明らかに欠陥があると判断された場合には、直ちに作業を中断し販売店または弊社営業窓口までご連絡いただきますようお願い申し上げます。3巾以降の施工費賠償については、お受けいたしかねますのでご了承ください。

4 養生

【施工後は自然乾燥を】

施工後は、接着剤が安定するまで自然乾燥させてください。急速に乾燥させると剥がれ・めくれなどの原因になります。

【養生テープについて】

粘着力の強いテープの使用は破れや汚れ、変色の原因になりますのでご注意ください。

壁紙のメンテナンス

1 一般注意事項

【入居後の換気】

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行ってください。

【直射日光等からの保護】

直射日光や熱風が長時間当たる場所では変退色するおそれがあります。カーテンやガラスフィルムなどで日除けを心がけてください。また、ストーブなどの暖房器具の熱風が壁紙に直接当たらないようにご注意ください。

【タバコの煙・キッチンの油煙について】

タバコの煙やキッチンの油煙などは壁紙を短期間で黄変させ、頑固な汚れとなります。室内の換気を心がけてください。

【薬品や化粧品類を付着させない】

スプレー式の薬品(殺虫剤・塗料・化粧品など)を壁紙に付着させないでください。また、傷薬などの医薬品や口紅なども付着させないでください。種類によっては付着した色が落ちなくなったり、壁紙が変色したりすることがあります。

【家具を壁面に密着させない】

家具の塗料やベニヤに含まれる色素により、壁紙が変色することがあります。家具と壁紙の間は空間の余裕をとってください。変色だけでなく結露やかびの防止にもなります。

【ゴム製品を壁面に密着させない】

壁面にゴム製品を密着させたり、ゴム系接着剤を使用したテープ等を使用しないでください。塩化ビニル壁紙に含まれる可塑剤と、ゴム製品に含まれる酸化防止剤が化学反応を起こし、変色等が発生する恐れがあります(ゴム汚染)。

【粘着テープを貼らない】

粘着テープ(セロハンテープやガムテープなど)を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。特にゴム系粘着剤は変色が起こりやすいためご注意ください。また、粘着テープを剥がす時に壁紙を破損するおそれがあります。

2 汚れが付着したら

【一般ビニル壁紙の場合】

飲食物や調味料などの汚れは、直ちに固く絞ったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。落ちにくい場合は中性洗剤をご使用ください。壁紙表面に残った洗剤は変色の原因になりますので、真水かぬるま湯できれいに拭き取ってください。
※強い洗剤やシンナーなどの有機溶剤は、変色や表面破損の原因になりますので使用しないでください。

【和紙・紙壁紙の場合】

シミの原因になるため水拭きは避けてください。ホコリが付着した場合は、ハタキなどを使用して取り除いてください。

【珪藻土の場合】

シミの原因になるため水拭きは避けてください。ホコリが付着した場合は、ハタキなどを使用して取り除いてください。汚れが目立つ場合は、固く絞った布で汚れをたたくようにして落としてください。

【織物壁紙・紙布の場合】

シミの原因になるため水拭きは避けてください。ホコリが付着した場合は、ハタキなどを使用して取り除いてください。汚れが目立つ場合は、固く絞った布で汚れをたたくようにして落としてください。

3 剥がれてきた壁紙のメンテナンス

部分的な剥がれであれば、剥がれが広がる前にゴミや埃を取り除いた後、壁紙の裏に文具用の糊や木工用ボンドをはみ出さないように塗布して、十分に圧着してください。剥がれてから時間が経ったものや、劣化して硬くなったものは補修が困難ですので、貼り替えをおすすめします。

4 かびについて

かびは見た目の悪さの問題だけでなく、アレルギーやぜんそくなど、病気の原因になることがありますので注意が必要です。防かび性能がある壁紙もありますが、壁紙単体でかびの発生を防ぐことはできません。

【かびを防ぐ】

かびは建物の構造や生活環境に大きく影響を受けます。常に換気を心がけ、風通しを良くして、湿度の上昇を抑えてください。

【かびが発生したら】

かびが壁紙表面だけで発生している場合、早めに消毒用アルコールで拭き取るのが効果的です(壁紙の種類によっては表面が損傷する場合がありますので、目立たないところで試してからご使用ください)。かびが大量に発生してしまった場合は、専門業者に相談することをおすすめします。

5 結露について

結露や過度の湿気はシミ・剥がれ・かびの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。

【換気・除湿】

常に換気を心がけ、暖房器具などから発生する水蒸気を外へ排出してください。特に浴室や料理時の水蒸気などにはご注意ください。除湿器や吸湿剤などの活用も有効です。

【通気を良くする】

家具裏などの隙間に余裕を取り、建物全体の空気の流れを良くする工夫をしてください。

【冬の結露について】

冬場は室内と外気の気温差が大きく、結露が発生しやすい時期です。また、加湿器を使用した後などは特に発生しやすくなります。こまめな換気や除湿を心がけてください。

6 その他

壁紙は日頃からある程度のメンテナンスを行いながら、使用状況に応じて5~10年を目安に貼り替えをおすすめします。

荷扱い・運搬上の注意

1 商品受領時のお願い

商品受領時には、納品書で品番・ロット・数量をご確認ください。万が一、ご注文と異なる品番や数量の商品が納品された場合は、販売店または弊社営業窓口までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

2 施工上の注意の確認

商品の特性および施工上の注意をよくご理解の上、施工をお願いします。商品の出荷ラベルには施工注意の内容を表示しています。

3 荷扱い・保管時のお願い

【無理な運搬はしない】

商品は重量物となるため、お取り扱いの際は十分な安全確保をし、無理な運搬はお避けください。事故や怪我の原因となります。

【保管はタテ置きで】

商品はタテ置きで保管してください。ヨコ積みや井桁積みは置き跡がつきやすく、光沢差やエンボスつぶれの原因となりますのでお避けください。

【高所から落とさない】

商品はトラックの荷台など高い所から落とさないでください。商品の破損や怪我の原因となります。

【保管上の注意点】

商品の保管場所は火気・水・湿気・直射日光の当たる場所をお避けください。また、商品を地面へ直に置いて保管しないでください。

廃棄上の注意

1 残材を焼却しない

壁紙の残材や見本帳を焼却しないでください。人体に影響を及ぼす有害物質が発生するおそれがあります。

2 産業廃棄物として処理する場合

壁紙の残材を産業廃棄物として処理する場合は、しかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に委託してください。

3 一般廃棄物として処理する場合

少量の残材を一般廃棄物(家庭ゴミ)として処理する場合には、市町村条例に基づき処分してください。

塩化ビニル製壁紙の「∞PVC」マーク表示について

「資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法:平成13年4月1日施行)」により、塩化ビニル製壁紙は指定表示製品に分類され、分別を容易にするために「∞PVC」マークを表示することが義務づけられています。「∞PVC」マークは1㎡あたりに1つ以上表示しており、目視で確認できますが、壁紙表面への色の影響を抑えるため、淡い色のインクを使用しています。分別の際は、剥がした壁紙の裏面にブラックライトを照射させると、「∞PVC」マークの確認が容易です。



サンゲツは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



SDGsとは、持続可能な世界の実現に向け国連が定めた2030年までの国際的な目標です。

■ 具体的な取り組み

8 働きがいも経済成長も | **働きがいも経済成長も**

和紙・箔・織物といった日本古来のものを使用した商品の企画・販売を通じ、地産品の普及や伝統工芸の継承による産業活性化促進に貢献します。

12 つくる責任 つかう責任 | **つくる責任 つかう責任**

端材を繋いでデザインにいかした和紙、リサイクル糸使用の織物壁紙、ホタテ貝殻を使用した壁紙など、商品をつくる上で再生材を使用して廃棄物の発生を防止・削減しています。またリサイクル可能な商品・見本帳を提供することで廃棄物を減らします。

11 住み続けられるまちづくりを | **住み続けられるまちづくりを**

価格帯・デザイン性・機能性に富んだ多様な商品を提供し、インテリアの面からまちづくりに貢献します。また見本帳廃棄時の分別を考慮した誌面レイアウト作成、見本帳リサイクルセンターの設置などを行い、サステイナブルなまちづくりを推進します。

15 陸の豊かさを守ろう | **陸の豊かさを守ろう**

リサイクル糸を使用した織物壁紙や間伐材を用いた天然木突板壁紙 WILL WOOD®など、より環境に配慮したサステイナブルな商材を企画・販売しています。